

地域とともにつくる アート

芸術家を招待し、滞在制作などを行う「アーティスト・イン・レジデンス」。今夏、アーティストユニット「S+N laboratory」を招き、まちなか交流センターと板室温泉O△□ギャラリーにて、市民と共同でのアート作品の制作が行われた。



アーティストユニット「S+N laboratory」
さかき きみ にしその まさし
榎 貴美さん 西園 政史さん

人と人をつなぐアート

今回の企画のテーマは「つなぐ」。オープンしたてのまちなか交流センターになるが「人と人をつなぐ場」になってほしいという思いを込め、モチーフを家の形にしました。家は家族の象徴であり、つながりが生まれる場所だと思ふので。

今回1カ月ほどの制作期間中に、保育園でワークショップを行いました。目の前にある材料を組み合わせ、さまざまな色や形を自分の感覚で表現する子どもたち。子どもの真つすぐな姿を見て、私たちもとてもワクワクしました。

アートの楽しさを感じてほしい

参加型アートでは、アーティスト



板室温泉O△□ギャラリーで行われた黒板プロジェクトの様子。

の思いに参加者の個性が加わり、新たな形が生まれ出されます。参加した人の経験が作品に入り込むことで、アート作品が時間とともに形を変えていきます。

那須塩原の皆さんに「アートって楽しいよね」と感じてもらうのも、今回の目標の一つ。大人から子どもまで、それぞれの感性で楽しんでもらえたらと思っていました。プロジェクトを振り返ると、多くの人に参加してもらったことができ、とても嬉しかったです。

市民の皆さんと一緒にあって、このまちにとってのアートの在り方を探求できたらいなと思えます。アートを肌で感じられる、そんなまちになっていくことを願っています。

ART369 アートでまちを元気に

新たなまちの魅力を生みだそうと、官民連携で進めている「ART369プロジェクト」。開始から半年以上が経過し、市内各所で「アート」をより身近に感じられる取り組みが行われている。

- ▶ 問い合わせ
ART369プロジェクト実行委員会事務局
- アート部会 (企企画政策課内)
☎0287(62)7106
- 映画部会 (困シティブロモーション課内)
☎0287(62)7128

アートの存在が身近なまちへ

「アート」と聞くと、少し敷居が高い、日常生活にはあまり馴染みがない、そんな印象を持つ人もいいるのではないだろうか。

しかし、市内には国際的に高い評価を受ける作家の作品を展示する施設が点在していたり、那須野が原博物館では美術関係の企画展が開催されている環境が整っている。

そんなまちの魅力をもっと広く市民に知ってもらい、気軽にアートに親しんでもらおうと始まったのが、「ART369プロジェクト」。旧青木家那須別邸での「ART369×もうひとつの美術館」や黒磯駅周辺での「アート369フェスティバル」など多数のイベントが開催された。

また、市内で撮影が行われ、完成した映画の上映会は、満員になるほど多くの人でにぎわった。

開始から8カ月、今後も新しい試みが企画され、さらなる広がりを見せるART369プロジェクト。今回の特集では、アーティストや映画監督にそれぞれの思いを伺った。

ART369 ドキュメンタリー映画×アーティスト インレジデンス

「S+N laboratory」と市民の共同制作に密着したドキュメンタリー映画も作られ、「なすしおばら映画祭」でお披露目されます。(詳細は9ページ)

この映画のテーマは「紡ぐ」。それぞれの人が自分の人生を日々紡いで、多くの人の生活が一重二重と重なり、那須塩原というまちを織りなしている。だから、個々の生き方が大切なんだということを伝えられたらと思っています。2週間の撮影期間中、さまざまな人の生き方を垣間見るこ

とができました。その中で、私が率直に感じた驚きや憧れ、関心などを映画を見た人に追体験してほしいです。興味を持ってくださった方はぜひ「なすしおばら映画祭」に見に来てください!



みなくち もんぞう
水口 紋蔵さん
武蔵野美術大学造形学部映像学科在学中。多岐にわたる映像表現に携わりながら、映画制作に力を入れている。